

令和6年度 学校関係者最終評価

大阪市立大正西中学校 学校協議会

1 全体を通じた中間評価についてのコメント

目標通り達成できたと「B」評価ができるいいのではないかと思います。前年度と比較するよりも、何%以上なら達成と評価するということでよいのではないかと思います。

先生方の日々の努力と強い意志のおかげで、中長期目標も年々成果が上がっていると感じました。母数が少ないので多少の%やポイントの数字にとらわれずに取り組み内容に注目して評価しました。実際に行事や学校生活を熱心に取り組んでいる生徒たちの生き生きした様子やを見て今後も協力させていただけたらと思います。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとのご意見

【安全・安心な教育の推進】

【大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を95.4%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

【学校園の年度目標】

- 年度末の校内調査において、「自分にはよいところがある」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(83.7%)より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「将来のこと（進路）や生き方について考えたことがある」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(86.5%)より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「困ったときに相談できる先生がいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(88.1%)より向上させる。
- 定期的（年2回以上）の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を52.3%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

○中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度

より1ポイント向上させる。

学校園の年度目標

○年度末の校内調査において「まじめに授業に取り組んでいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を92.7%より向上させる。

○食育を推進し、年度末の校内調査において「朝食を毎日食べている」に当たはまらない生徒の割合を7%より減少させる。

○調べ学習や読書活動など主体的な学習意欲を高めるため、昼休みの図書館開館を原則5回とし、昼休みの図書室利用者数を平均13名以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

○授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を40%以上にする。

学校園の年度目標

○ICT機器の整備と活用を推進し、授業を中心に、すべての学年や学級で生徒がICT機器を活用した活動を行う。

○年度末の校内調査において、「学校では、命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会が多い」の項目で肯定的に答える生徒の割合を97.1%より向上させる。

○年度末の校内調査において、「家で学校の授業の復習をしている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を53.3%より向上させる。

課題の学力については、自身の反省も踏まえつつ、その大半は本人と家庭の自覚による影響、または差であると思います。

掃除の時間を週3にして、残りの週2を30分程度学習の時間に充てるのはどうでしょうか。

3 今後の学校園の運営についてのご意見

「人」として生きていく上でのルールや道徳的なことは西中の生徒のほとんどはできているということは大切なことだと思う。

この運営結果の内容を多くの保護者や生徒、小学生の保護者や生徒に知ってもらえたたらと思います。昔のイメージが根強く伝わっていてそれが生徒流出の原因にもなっていると思います。これを払拭させ入学者が増えるようにするには思い切った変化やアピールを必要としていると思います。